

T20200525_02_ASN

2Africa 海底ケーブル、23 か国を接続

China Mobile International, Facebook, MTN GlobalConnect, Orange, stc, Telecom Egypt, Vodafone and WIOCC は、提携して 2Africa を建設すると発表した。これはアフリカ大陸と中東地域にサービスを提供する最も包括的な海底ケーブルになる。グループは、アルカテルサブマリンネットワークス(ASN)を指名し、全額出資プロジェクトでケーブルを建設する。これによりアフリカと中東の接続性は大幅に増強される。



37,000km 長、2Africa は世界最大海底ケーブルプロジェクトの一つとなり、ヨーロッパ(エジプト経由東方)、中東(サウジアラビア経由)、それにアフリカの 16 ヶ国の 21 陸揚げ局を相互接続する。同システムは、2023/4 に始動予定であり、今日 Africa にサービスを提供しているすべての海底ケーブルの総容量を上回り、システムの主要部分では 180Tbps の容量設計となっている。2Africa は、アフリカの大部分に、必要性が高いインターネット容量と信頼性を提供し、急成長する中東の容量需要を補完し、数億の人々の 4G、5G、固定ブロードバンドアクセスを支える。

2Africa ケーブルが陸揚げされる国々では、サービスプロバイダが、キャリアニューtralデータセンターあるいはオープンアクセスケーブル陸揚げ局を公正、公平に獲得する。これは健全なインターネットエコシステムの発展をサポートする。ビジネスと消費者に等しくアクセシビリティの大幅改善となるからである。

2Africa ケーブルは、障害耐性改善と性能の最大化を目的に設計されている。これには、東アフリカとヨーロッパ間のシームレスな光横断が含まれる。2Africa グループと Airtel は、Telecom Egypt と契約して、紅海と地中海に全く新しい横断リンクを提

供する、これは過去 10 年で初めてである。また、これには、新しい陸揚げ局と 2 つの新しい多様な陸上ルートの次世代ファイバ導入が含まれる。陸上ルートは、ラス・ガリブからポートサイドへのスエズ運河と並行している。さらに、ラス・ガリブとスエズの間には第 3 の経路を提供する新しい海底リンクも含まれている。

2Africa ケーブルは、ASN の SDM (Spatial Division Multiplexing) 1、新技術を実装しており、旧技術がサポートしていた 8 ファイバペアではなく 16 ファイバペアまでの導入が可能であり、容量はさらに大きく、コスト効果はさらに改善される。同ケーブルは、光スイッチング(WSS)-ROADM 技術を組み込んでおり、帯域の柔軟なマネージメントを可能している。ケーブル埋設深さは、旧システムと比べて 50%増加(最大 3m)しており、ケーブルルートは未知の海底の混乱を回避し、細雨レベルの可用性保証に寄与する。